

● 顕現後第二主日

泉のほとり

今日の詩篇 「第九二編」

主の家に植えられ

わたしたちの神の庭に茂ります。



愛を身につけよう

毎年の初めに「今年は何んな年にしたいですか」と問われることがあります。「よい年にしたい」とか「飛躍の年にしたい」などと答えます。それと同じように、信仰者として今年をどういう年にしたいかを、自分に問う必要があるでしょう。そういうものがなければ、いつの間にか今年が終わってしまうことになりかねません。

自分の生涯を国立競技場のトラックを走ることに例えると、走り出したばかりの人や、真ん中あたりの人、第四コーナーを曲がって最後の直線を走っている人と、さまざまです。でもわたしたちの場合、ゴールで終わりではありません。オリンピックの聖火ランナーのように、コースを一周してから、天国への階段を上ります。そこまでを視野に入れながら、今年をどう生きるかを、考えるのです。

あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、と聖書は語ります。こういう言葉を、きちんと聞く必要があります。これがわたしたちの真実です。だから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身につけなさい、愛を身につけなさい、と言われます。

身につけるとは、自分がないものを、訓練を通して自分のものにする事です。もともとわたしたちは、慈愛も謙遜も寛容もないのです。人を愛するのが苦手なのです。だから、愛を身につけなさい、と言われるのです。それには努力が要りま

す。パウロは、服従を身につけるために、自分の身を打ちたたたくと言っています。自分を打ちたたかないと、愛は身につけません。

それに加えて、キリストの平和が心を支配するようにしなさいと言われます。そのためにも、キリストの言葉が自分の中に豊かに宿るようにします。そして何を話すにも、何をやるにも、主イエスの名によって行うのです。主の名によって語れば、人の悪口は言えないでしょう。そして妻は夫に仕え、夫は妻を愛し、子供は親に従い、親は子どもをいじけないように育てます。それが神さまの御心です。

自分の着るTシャツにメッセージを書く人がいます。大分前、高雄新興教会の若者が「キリストはわたしたちの希望」というロゴの入ったおそろいのTシャツを作りました。それを着て、町を歩くのです。

皆さんはどういう言葉の書かれたTシャツを着ますか。夫には「わたしは妻を愛します」という言葉、子供は「わたしは両親に従います」という言葉、あるいは「何でも主イエスの名によって語り、行う」というのもいいですね。「キリストの言葉を貯えよう」とか「慈愛と謙遜に生きよう」というのもあります。

皆さんは、今年一年、どういう目標を掲げて生きていきますか。

(コロサイ三・一二〜二)

祈り

○ 新しい聖なる日の朝を迎えました。多くの兄弟と姉妹がここに馳せ参じてまいりました。しばらく顔を見ることがなく、祈りにその名を覚えながらも、しかし訪ねることができないままに待つていた友の顔がここにあります。それだけに、ここに来ていない病んでいる友、教会から遠ざかっていると思われる親しい者たちのあることを、心痛む思いで思い起こさなくてはならないこの朝であります。これらすべて、わたし共の愛の貧しさを、わたし共の信仰の歩みの不確かであることを表すものであります。

しかしあなたは、あなたの恵みによる歩みを作ってください。わたし共があなたを「父なる神よ」と呼ぶことを求めていくことができます。恵みの賜物として心から感謝いたします。このしばらくのとき、ただひと言、あなたを「父よ」と呼ぶ喜びに巻き込まれ、吸い込まれる体験をさせてください。

我々が生きていく時にも、まさに死なんとする時にも、御子の臍の故にこのようにあなたを父と呼ぶことができることが、わたし共にとって真実の慰めとなることを信じさせてください。そのため、御霊の力を注ぎ、御言葉を心に刻んでください。そして、その御言葉の光の中で照らし出される自分の罪を悔い改めることを、他の人の過ちを教えるに先立

ち、どんな誇りを語る言葉にも先立ちまして、わたし共の最初のわざ、最も大切なわざとしてくださいますようお願いいたします。

世界の歩みもまことに不確かであります。わたし共の罪がそうなのです。あなたが救ってくださいるまでは、人間のどんな方や知恵をもってしても本当の平和を作ることができないことを申し訳なく思います。しかし、このような中にあつても、あなたの救いが約束されていることを信じていくことができ、幸いあります。それ故に、今与えられている務めに、あなたを信じる者も、信じない者も、力を合わせて務めることができませんように、政治を司る者、教育のわざに携わる者、平和を確かならしめるために務めを担わされている者、また、たったひとりで目立たぬ仕事をしている者、それがあなたから与えられた愛であるが故にそこに生きようとしている者も、また、その務めの故に病み、叛れている者、嘆きの中に白らの希望を失いかけている者など、教え尽くすことのできないさまざまな姿がこの地上にあります。そのひとつひとつを、御手をもつて捉え、御心をもって支配してくださいますようお願いいたします。

ここに集まることのできない者にも、あなたの恵みが豊かであることを願います。あなたを信じていくことのできない多くの人々にも、あなたの御栄えの光を垣間見させてくださることを祈り、それらすべての祈りをも併せて、わたし共があなたの栄光をほめたたえることができますように。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○ 第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサーブと、園舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。また一〇時四〇分から幼稚園のコスモスの部屋で紫園香音楽伝道師の指導による讃美と祈りの会があります。どうぞご参加ください。

○ 第二礼拝は成人式礼拝です。群れの中で成人を迎えた人たちのお祝いをします。

○ 第二礼拝後、ホールで成人を迎えた人たちを歓迎する会をします。その後、今年最初の愛餐会です。今日のメニューは、お赤飯、鯛の照り焼き、ほうれんそうの五日白相え、すまし汁、漬物、みかん、です。ご期待ください。

○ 午後二時から奉仕部研修会です。教会の今年度の課題である新しい体制について、古村牧師の話をお聞きます。

○ 明日、午前一〇時半から、東京説教塾の例会がホールで行われます。

○ 今週一九日(金)朝一時から、シオンの会があります。ハイデルベルク信仰問答の問一一二と一一三を学びます。新しい人を歓迎します。

○ 四月一日のイースター礼拝で、受洗・転入会をご希望の方は、入信記を書いて、一月二十八日までに、牧師あてにご提出ください。

○ 紫園香音楽伝道師は二〇日(土)同仁教会でコンサートの奉仕をします。お祈りください。

ケニヤだより

約束の地、起工式

(前回のつづき)

15年の歩みは多くの恵みと、試練の日々でした。7年前にナイロビの家を1か月で出なければならなかったとき、コイノニアの出エジプトでした。そして荒野の旅はまだ続いていますが、もう約束の地は見えています。いつヨルダン川を渡るこ

とができるか？

起工式の1週間前に、コイノニアの校長と、事務長がスタッフ全員との面接を行いました。これは毎年していることですが、今回は特に特別な質問をしました。「コイノニアがマイマヒウに引越す時、あなたはどうしますか？ 私たちと共に新しい学校に移りますか？」全員が、「一緒にいきます。」と答えました。家族がいる人たちもいますが、それぞれが家庭で話し合っていました。全員が共にヨルダン川を渡ると言っていて、驚くべきことであり、大きな感謝です。一人一人がコイノニアの歩みを自分の歩みとして、喜びも重荷も共に追っていかれることです。移転に伴う多くの課題がすでに話題になっていますが、

皆がアイデアを出し、積極的に行動してくれています。15年間の歩みを通して、人材が育ち、一緒に歩む群れが育っています。

(市橋記)

聖書の会へどうぞ

1月17日(水)

●朝の聖書の会(10時)

〔草原の聖餐式〕

マタイ14章13〜21節

吉村和雄牧師

●聖書の夕べ(19時)

〔解放の時は近い〕

ルカ21章10〜28節

吉村和雄牧師

ミニコンサート

2月1日(木) 12時30分

パイオリン演奏 中川あんな

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 今日もまた新しく 121番

説教 「わたしについて来なさい」

聖書 マタイ4章12節〜23節

説教者 黄允泥 副牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 82番 334番

詩編 第92篇

説教 「あなたを造り上げるために」

聖書 II コリント12章19節〜21節

説教者 吉村和雄 牧師



第一礼拝 (午前 9 時 30 分)

讃美歌 今日もまた新しく 121番
説教 「世の罪を取り除く」
聖書 ヨハネ1章29節～34節 (新約P164)
司式 山下 純一 兄
説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「主キリスト、神のひとり子」J.S.バッハ

- 「今日もまた新しく」聖公会讃歌16番
- 1. 今日もまた新しく 鳥 歌い 喜ぶ
み言葉に 生かされて たたえよう この日を
- 2. 草木にも 恵み満ち 雨 露の 輝き
神の園 しのばせる たたえよう この日を
- 3. ひとすじの 光より 生まれでる この朝
声高く ほめ歌え み手による この朝 アーメン
- フルートによる讃美
「キリストにはかえられません」 G.B.カー
- 讃美歌 121番
- 1. 馬槽のなかに うぶごえあげ
木匠の家 ひととなりて
貧しきうれい 生くるなやみ
つぶさになめし この人を見よ
- 2. 食するひまも うちわすれて
しいたげられし ひとをたずね
友なきものの 友となりて
こころくだきし この人を見よ
- 3. すべてのものを あたえしすえ
死のほかかなにも むくいられで
十字架のうえに あげられつつ
敵をゆるしし この人を見よ
- 4. この人を見よ この人にぞ
こよなき愛は あらわれたる
この人を見よ この人こそ
人となりたる 活ける神なれ アーメン

聖餐曲「ファンタジー第2番イ短調より」

G.Ph.テレマン

後奏曲「アレグロ」F.メンデルズバハ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 1番 335番
詩編 第92編 (旧約P931)
説教 「求め、探し、たたく」
聖書 マタイ7章6節～12節 (新約P11)
説教者 黄 允浚 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「たえにうるわしき」J.S.バッハ

- 讃美歌 1番
- フルートによる讃美
「キリストにはかえられません」 G.B.カー
- 聖歌隊による讃美
「主の道へ」編：B.L.リチ
主の道へ 主の道へ 共に我ら進もう
主イエスは今 待っておられる
主の道へ共に進もう

主の命じられるまま どこまでも行こう
主に従い歩もう 悲しみも 苦しみも
主イエスは皆知っておられる
共に主の道を行こう

主イエスは今 生きておられる
主の愛と命を受けよう
主のくださる全てを 喜びうけよう
主に従い歩もう
力あふれ 輝き満ち

主の道へ 主の道へ 共に我ら進もう
主の道へ 主の道へ 輝く主の道へゆこう

○讃美歌 335番

聖餐曲「ファンタジー第2番イ短調より」

G.Ph.テレマン

後奏曲「アレグロ」F.メンデルズバハ